

フェアトレード商品のセレクトショップ「Love&sense」を運営する「福市」の高津玉枝さんは考えていた。途上国で生産されたものを適正な価格で取り引きすることで、生産者の生活向上を持続的に支えるフェアトレードをより多くの人に知ってもらうにはどうしたらいいのだろうか。そこで思いついたのがTシャツ。「誰もが気軽に着られ、トレンドや好みに左右されにくい。フェアトレード認証コットンで作れば、もっと知ってもらえるのではと思いました」。そこから生まれたのが、MarucoシリーズのTシャツだ。

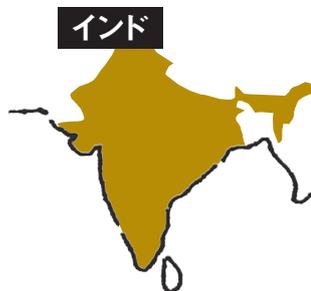
使っているコットンはインドの農家が生産したもので、途上国の生産現場にありがちな低賃金での労働や児童労働、環境汚染などを行っていないことが認められている。輸出入、加工、製造工程、販売でも厳しい国際認証基準をクリアしたものだ。

さらに、より多くの人に着てもらうためにはデザインの力が必要だと考えた高津さんは、ものとして美しく、そして着る人も美しく見せる洋服を作る「SI-HIRAI / si-si-si comfort」の平井さん夫妻にデザインを依頼した。以前からフェアトレードが気になっていたふたりは「ファッションの裏側にある問題をあらためて直視しショックでしたが、私たちのデザインの力で、すこしでも世の中を変えることに役立てればと思っています」と快諾してくれた。

そして出来上がったのがMarucoシリーズのTシャツ。個性的で、着心地がよく、しかも社会貢献につながっている。あなたのクローゼットに1枚いかが？



フェアトレード基準を守っているインドの綿花畑。ここで育った綿が糸になり、日本でTシャツとして販売される



文・久島玲子(編集部)

Tシャツで 伝える フェアトレード



ゆったりとしたシルエット、すっきりとしたネックライン、お尻がすっぽりと隠れる長さ……。着る人の体型に合わせて美しくシルエットが変化する個性的なデザイン。8,424円(税込)

商品の購入はLove&senseのHPまで ▶ <https://www.love-sense.jp>